
高 圧 洗 浄 機

取 扱 説 明 書

200Vモーター式

MKW513MC

MKW520MC

MKW1010MC

MKW1413MC

製造番号 _____

この取扱説明書には、正しく安全にご使用いただくための注意事項が記載されています。ご使用になる前に必ず本取扱説明書をお読みになり、正しい使用方法を理解してください。

本製品は、業務用製品として製作してあります。本製品の内容を理解していない方や、一般家庭の方は使用をご遠慮ください。

ご購入いただいた際に、本体に貼り付いている銘板の製造番号を上記に転記しておいてください。当品のお問い合わせの際は、上記製品名と製造番号をご連絡ください。

当取扱説明書は、いつでも見る事が出来るようにしておいてください。

尚、当取扱説明書の再発行は原則として出来ませんので、大切に保管してください。

- 目 次 -

§ 1	構成と名称	1
§ 2	標準付属品	2
§ 3	製品の仕様諸元	3
§ 4	安全にご使用いただくために	4
§ 5	ご使用前の点検と確認	5
§ 6	作業手順の説明	7
§ 7	使用後の注意点	10
§ 8	保守点検	11
§ 9	点検整備表	12
§ 10	トラブルシューティング	13
§ 11	アフターサービスについて	15
§ 12	製品の保証期間について	16

 印付きの下記マークは、安全上特に重要な項目ですので必ずお守りください。

危険

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険性が極めて大きいことを示します。

警告

適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。

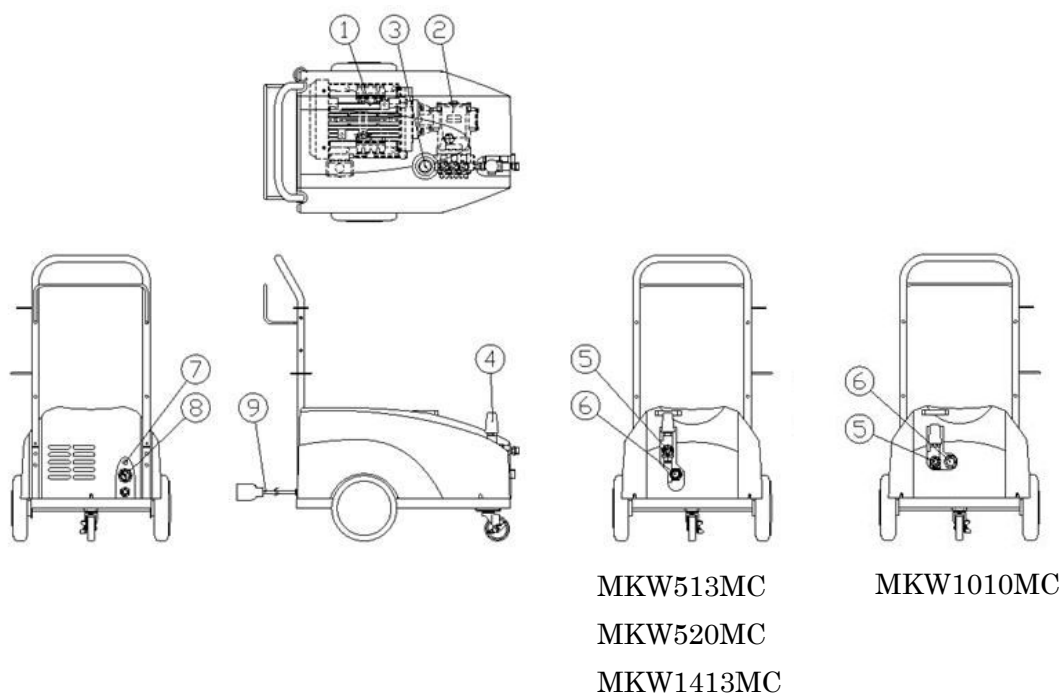
注意

安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。

§1 構成と名称

当機は以下の部品で構成されています。

- | | |
|---------|----------------|
| 1．モータ | 6．吸水口 |
| 2．ポンプ | 7．電源ランプ(通電時点灯) |
| 3．圧力計 | 8．メインスイッチ |
| 4．アンローダ | 9．電源コード(プラグ付) |
| 5．吐出口 | |



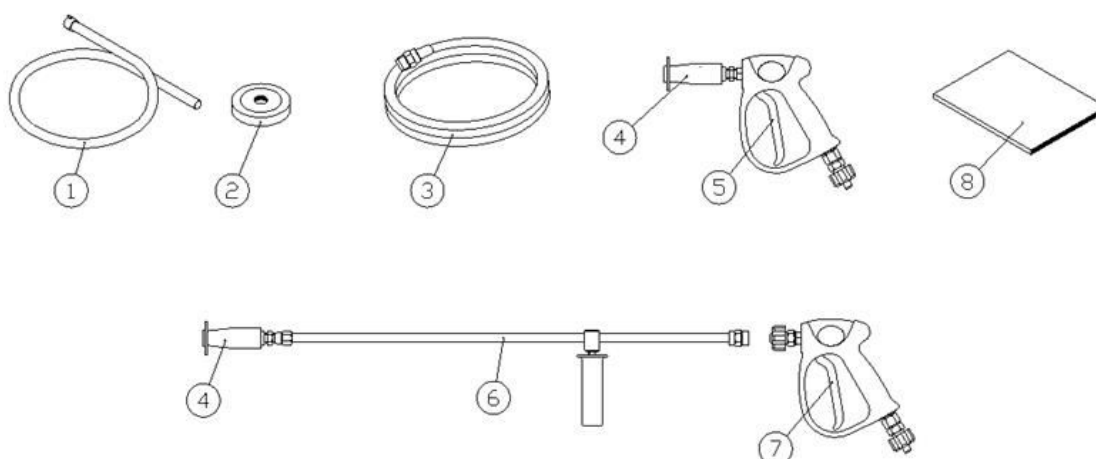
§2 標準付属品

ご使用の前に、付属品が全て入っているかを確認してください。

付属品が不足していた場合や破損していた場合には、最寄りの販売店までご連絡ください。

記載内容は標準付属品です。ご注文内容によっては一部変更になる場合があります。

番号	品番	名称	対応機種
1	935589	吸水ホース 3m	全機種共通
2	935487	吸水用円盤型ストレーナ#32	全機種共通
3	935590	高圧ホース 10m(両端 QC 付)	全機種共通
4	935594	FA ロングノズル FAL/N075	MKW513MC
	935595	FA ロングノズル FAL/N090	MKW520MC 50Hz
	935596	FA ロングノズル FAL/N120	MKW520MC 60Hz
	935591	FA ロングノズル FAL/N030	MKW1010MC 50Hz
	935592	FA ロングノズル FAL/N040	MKW1010MC 60Hz
	935593	FA ロングノズル FAL/N045	MKW1413MC
5	935597	ハンド洗浄ガン SU-P25-FAL/N075	MKW513MC
	935598	ハンド洗浄ガン SU-P25-FAL/N090	MKW520MC 50Hz
	935599	ハンド洗浄ガン SU-P25-FAL/N120	MKW520MC 60Hz
6	935600	FAL/N030 付ランス	MKW1010MC 50Hz
	935601	FAL/N040 付ランス	MKW1010MC 60Hz
	935602	FAL/N045 付ランス	MKW1413MC
7	935603	洗浄ガン SU-P25-KU	MKW1010MC/MKW1413MC
8	935604	取扱説明書	全機種共通



§ 3 製品の仕様諸元

機種名	MKW513MC		MKW520MC		MKW1010MC		MKW1413MC	
製品番号	368052	368053	368054	368055	368056	368057	368058	368059
周波数 [Hz]	50	60	50	60	50	60	50	60
吐出圧力 [MPa]	5		5		10		14	
吸水量 [L/min]	13		17	20	8	10	13	
標準 ノズル	075		090	120	030	040	045	
給水方式	吸余水式(余水循環)							
吐出口	SM-3/8M							
吸水口	G3/4M							
駆動方式	ホローシャフト直結式							
外観寸法 [mm]	488W×793L×875H							
製品重量 [kg]	46		54		52		64	
モータ	三相 200V 4P 全閉外扇屋内型(IE3)							
出力[kW]	1.5		2.2		2.2		3.7	
定格電流 [A]	6.8	6.4	10.6	9.4	10.6	9.4	15.6	14.6
保護装置	サーマルリレー							
電源 コード	2sq							
ポンプ	MW2HP35EL5-U	MW2HP35EL6-U	MW2HP55EL		MW3SF29EL(HP)		MW2HP35EL5-U	MW2HP35EL6-U
クランク 潤滑油	丸山純正オイル SN 級 10W-30							
オイル量 [L]	0.37				0.32		0.37	
調圧方式	背圧式アンローダ VB8 スイッチ付							

§4 安全にご使用いただくために（製品の始動前に必ずお読みください。）

 **警告：**人体等への安全のために、下記の事項を厳守してください。

1．高圧力に注意

高圧噴流は大きな洗浄能力を持つと同時に、取扱いを間違えますと非常に危険です。取扱いには十分御注意ください。又、怪我をした場合は、直ちに医者の手当てを受けてください。

ノズル（噴射口）を、絶対に人や動物にむけないでください。

噴射前や噴射中に、ノズルの前に手などを当てないでください。

作業中は、噴射水が作業者にかからないよう十分注意してください。特に、ゴミ等が目に入らない様保護具を装着してください。

装置から水漏れが発生した場合は、**その部分には絶対に触れないでください。**直ちに装置を止めて修理してください。

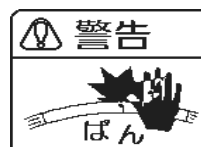
噴射作業中は、ガン及びランスをしっかりと支持し、反力で跳ばされないよう注意してください。

高圧ホースは、破裂（バースト）の可能性があります。**作業中ホースが体に密着しないよう注意してください。**

高圧ホースは、外皮が傷んでいたり折れ曲がった（キンクした）りした状態で使用しますと、**破壊の危険性があります。**新しいホースに交換して下さい。

使用后（停止後）もホース内に残圧が残っております。ガンの引き金を引いてホース内の残圧を逃がしてください。

接続金具に錆、破損等がないか確認してください。



2．作業開始時や作業中に、異音が発生していないか注意

作業開始時や作業中に異音を感じたら、直ちに作業を中止し、原因を調べてください。原因がわからない場合は、メーカーに問い合わせるなどして、安全が確認できるまでは運転を見合わせてください。機械の異常損傷や作業事故につながる可能性がありますので、十分にご注意願います。

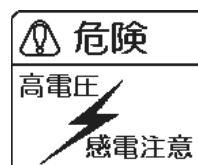
3．引火性ガスに注意

引火性ガス、爆発性の可燃物（アセチレン、プロパン、シンナー、ガソリン、塗料等）のない場所で使用してください。もし使用して事故が発生すると、人身や建造物に重大な損害を与えます。



4．アースの接続

漏電等による火災、感電事故は重大な損害を与えます。短時間の運転でも**必ずアースを接続**して下さい。



§5 ご使用前の点検と確認

 **注意：機械を壊さないために、下記の注意事項をお守りください。（重要）**

1．ポンプオイルのレベル及び汚れのチェック

オイルの入っていない状態で運転しますと、クランク部で焼き付けを起こします。**始動前にレベルゲージでオイル量をチェックしてください。**不足している場合はポンプ上部の給油口よりオイルを補給してください。

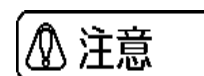
オイルの汚れがひどい場合はオイル交換してください。

オイル量は §3 製品の仕様諸元を参照してください。



2．清水（水道水）を使用してください

気密性の高い高圧プランジャーポンプは、砂泥、金属粉等には非常に弱いポンプです。これらスラッジ分の混入した水を使用しますと、ポンプ内のバルブ、パッキン、プランジャー等を早期に傷めます。できる限り**清水（水道水）**を使用してください。特に川水、井戸水、工業用水、農業用水等は、微細なスラッジ分が混入していることがありますので、摩耗が早い場合は、フィルター（本機は装着済）等の対策をする必要があります。



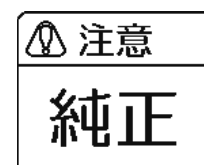
3．ポンプ内の残水が凍結していませんか？

ポンプ内が凍結した状態でポンプを起動しますと、氷の破片によりポンプ内部が破損しますので、凍結の心配があるときは**解凍を確認してから起動**してください。（詳しくは §7 をご覧ください。）



4．純正品以外の部品は、原則として使用しない

ガン、ホース、ノズル等は、必ずポンプ容量等に適合した**純正部品**を使用してください。万一、純正以外の部品を使用する場合は、適合性を十分に調査、確認をしてからにしてください。



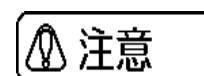
5．圧力は規定値又は、それ以下で使用する

アンロードの調整、標準よりも小さいノズルを使用した場合は、異常高圧が発生していないかをチェックしてください。異常高圧が発生した状態で使用しますと、機械が破損することがありますので噴射圧力を規定値まで下げてご使用ください。



6．ポンプの空運転の禁止

ポンプに水が供給されない状態で**連続 1 分以上の空運転**をすると、ピストン・パッキン部が高熱になり、装置故障につながりますので御注意願います。



7. 使用液体について

ポンプの使用液体について、次のことにご注意ください。

PH 4 ~ 10 の範囲内で御使用ください。範囲外の酸、アルカリを使用しますと、ポンプ、ホースを損傷させます。

研磨的な作用のある液体の使用は、ポンプ、ホースを損傷させます。

0 ~ 40 の範囲を越える液体を使用しますと、ポンプ、ホースを損傷させます。特に高温水を使用した際、**ホース等が破裂しますと爆発する可能性**があり、大変危険ですので絶対にやめてください。



8. 指定された電源に

指定の電圧 (V)、周波数 (Hz) に接続してください。それ以外の電源で使用しますと機械の破損、またそれに伴い火災等の事故につながる危険性がありますので、絶対に接続しないでください。

電源元には必ず漏電ブレーカーを設置し、しっかりと接続してください。接続時は感電事故等が無いよう十分ご注意ください。



9. 機械の設置

下記の事柄に注意して機械を設置してください。

狭いところや壁、塀等の近くで機械を運転しますと、熱効率が悪くなり本機を損傷させますので、**障害物がない換気のよいところ**で運転してください。

急な傾斜地で運転しますと、オイルが十分な潤滑をできず、**ポンプを損傷させます**ので、平坦な安定した場所で運転してください。

発電機、排熱ダクト等の排気側に本機を置きますと、排気熱により本機を損傷させますので、涼しい場所に置いてください。



10. 水がかからないように

本機は防水型ではありません。スイッチ等に水がかかると、漏電、故障等につながりますので、保管の際は雨水がかからないように注意してください。

§6 作業手順の説明

1. 運転準備

ポンプオイルの量、及び汚れのチェックをしてください。

オイル点検不備による焼付きは、ユーザー責任になりますので十分ご注意ください。

吸水ホースを本体吸水口に接続してください。吸水ホースの接続不良はポンプのエアかみを引き起こし、異常振動、圧力低下の原因となりますのでしっかりと接続してください。

吸水ホースの先端に吸水フィルタを取り付け、水の入った水槽の中に吸水フィルタ部を入れてください。

高圧ホースを吐出口に接続してください。

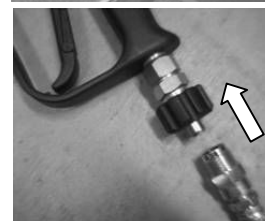
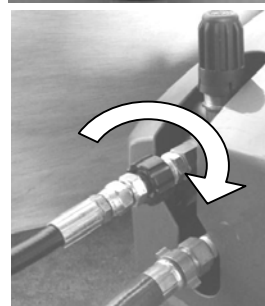
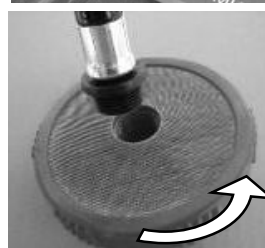
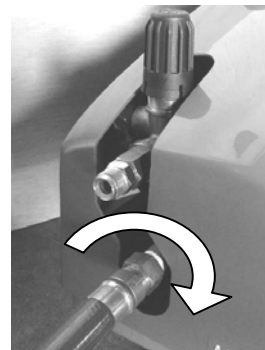
高圧ホース、ランスを洗淨ガンに接続してください。

機械本体、配電盤などのスイッチが入っていないのを確認して、プラグを電源コネクタに接続してください。

安全のために**必ずアースをとる**ようにしてください。

配線を延長する場合は、必ずキャブタイヤケーブルを使用してください。

- ・芯線の断面積：3.5mm²以上
- ・ケーブル全長：30m 以下



細いキャブタイヤを使用しますと電圧ドロップが起こり、始動不能、回転数の低下などの重大な故障の原因につながりますので注意してください。

コードリールを使用する場合は、コードを全て引き出して使用してください。

2. エア抜き

洗浄ガンのトリガをロックしてください。



ノズルを低圧モード(先端方向に引張る)にしてください。



低圧モード

スイッチを『自動』にしてください。モータが始動します。

ガンのトリガを握り、ノズル先からエア抜きを行ってください。
30 秒程度でエア抜きが完了します。



エア抜きが完了すると高圧水が噴射されるのでガンをしっかりと支えてエア抜きを行ってください。

吸水していることを必ず確認してください。**1 分以上の空運転はピストン・パッキンを傷めます。**

ガンのトリガを離し、スイッチを『停止』にしてください。

ガンのトリガを握り、ホース内の残圧を抜いてください。

3. 運転開始

ノズルを使用条件に合わせ、高圧モード(ガン方向に押込む)、または低圧モード(先端方向に引張る)にしてください。



高圧モード

ノズルを使用条件に合わせ、直噴(右回し)、広角(左回し)にしてください。

スイッチを『自動』にしてください。

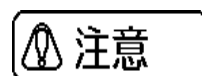


直噴

ガン、ランスを手でしっかり保持したうえで、ガンのトリガを引いて高圧水を噴射させ、作業を開始してください。

高圧水が噴射されないときは、『§ 10 トラブルシューティング』を参照して点検してください。

圧力が規定値より高い場合は、**規定値以下になるようアンローダーにて調節**してください。



作業を中断する時は、スイッチを『停止』にし、必ずモータを停止させ、圧力を逃がしてください。

オートストップ機能を働かせない場合は、スイッチを『手動』にしてください。ただし、運転中にガンのトリガを放して5分以上放置しないでください。ポンプの破損につながります。

<噴射パターン>



高圧モード直噴



高圧モード広角



低圧モード直噴



低圧モード広角

4. オートストップ機能について

スイッチを『自動』にしての作業中に（モータが回転しポンプが稼動している状態）ガンを閉じて高圧水の噴射を中断させると、約 10 秒で**オートストップ機能**が働き、自動的にモータが停止します。

作業を再開する場合はガンのトリガを引くと自動的にモータが起動します。

機械のそばを離れる時は**必ずスイッチを『停止』**にしてください。

高圧ホース～ガンの水漏れ、アンローダの故障等があると、誤作動を起こすため、オートストップ機能は正常に働きません。



5. 運転終了

吸水ホースを水槽から引き上げ、ガンを引いて、ポンプ内の水を排出させてください。この時、1分以上の空運転は避けてください。パッキンの異常摩耗につながる可能性があります。

スイッチを『停止』にしてください

ガンのトリガを引いて、ホース内に残った**残圧を逃がしてください**。残圧が残ったままにしておくと、不用意に引き金を引いて残圧による被害を起こしかねませんのでご注意ください。

事故防止のため、電源コードを取り外す、又は電源元のブレーカーを切るなどしておいてください。



§7 使用後の注意点

1. 寒冷時の凍結防止

寒冷期にポンプ、フィルタ、タンク内に水を入れたままにしておくと、凍結によりポンプの破損につながりますので、使用後に水を抜いておいてください。また、ポンプに不凍液を循環させますと、より確実に凍結対策ができます。

不凍液の循環方法

【推奨不凍液】・・・自動車用不凍液（LLC）

【不凍液量】・・・4～6L

希釈された不凍液（30～60%の濃度）の入った容器の中に吸水ホースを入れた状態で機械を作動させ、不凍液をポンプ内に吸入させてください。吐出口から不凍液が出てきたら吸水ホースを容器の中から引き上げ余分な不凍液を排出してください。



凍結してしまった場合 重要

機械を暖かい場所に置く、ポンプヘッドにお湯を徐々にかけるなどして、時間をかけて解凍してください。

解凍するまでは絶対に運転しないでください。凍結したまま運転しますと故障に直結する原因となるばかりでなく、異常圧力の発生等による事故の可能性を生じるため、大変危険ですので絶対にしないでください。



2. 長期間使用しない場合(1ヶ月以上)

ポンプやホース内に水が残ったまま長期間放置しますと、凍結や内部腐食を起こす原因となります。排水するか不凍液を通しておいてください。

3. 保管場所の注意

本機は防水型ではありませんので、保管の際は雨水が本機にかからないように注意してください。スイッチ等に水がかかると、故障の原因となります。

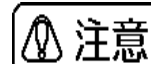
§8 保守点検

1. アンロ - ダ - の調整について (重要)

《調整方法》

ガンを噴射状態にして、圧力を確認しながら徐々に締めていき、製品の規定圧力になったところで固定し、それ以上圧力が上がらないようにしてください。

必要以上に締め上げても、噴射圧力は上がりません。逆に、**ポンプ内部が異常に高圧となり装置を破損させる**ことになりますので十分に注意してください。



2. ポンプの点検 (重要)

ポンプオイルの交換

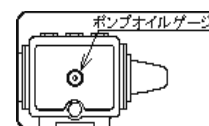
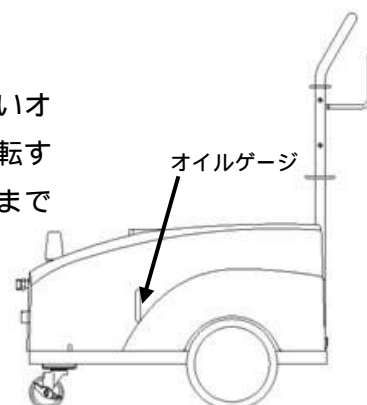
ポンプオイルは、使用のたびに汚濁劣化しますので、定期的に古いオイルを全部抜いて新しいオイルに交換してください。汚れたまま運転すると、ポンプ焼付につながります。オイルは、オイルゲージの中心まで入れてください。

【交換時期】・・・初回：50 時間運転時 以後：500 時間運転毎

【純正オイル】・・・丸山純正オイルをご使用ください

品番:429273 品名:丸山純正オイル 1L

【オイル量】・・・§3 製品の仕様諸元を参照してください



Vパッキン・バルブの交換

- (1) 長時間使用しますとプランジャー部のパッキンが磨耗し、正常な圧力が出なくなったり、ポンプ下部から水漏れすることがあります。この場合はプランジャー部のVパッキンをセットで交換してください。
- (2) バルブが磨耗しますと、圧力が乱れます。この場合はバルブをセットで交換してください。

§ 9 点検整備表

下表の時間を目安に各箇所の点検を行ってください。

時期	点検箇所	点検内容	参照	備考
毎回作業前	本体全体	水漏れ点検		
	ポンプ	オイル漏れ点検 オイル量点検	§ 5-1	
50 時間後	ポンプ	初回オイル交換	§ 8-2	
500 時間毎	ポンプ	オイル交換	§ 8-2	
		消耗品交換 (パッキン、バルブ)		
	アンローダ	消耗品交換 (パッキン、バルブ)		

ポンプオイル：自動車エンジンオイル SE 級以上 SAE10W-30

消耗品交換は圧力低下や水漏れ等、不具合が生じた時でも結構です。

§ 10 トラブルシューティング

分解点検作業は、専門の業者に依頼するか、最寄の取扱店にご相談ください。

下記項目を確認しても故障が直らない場合、およびこの項目にない症状がでた場合は、最寄の取扱店にお問い合わせください。

症状	考えられる原因	その対策
スイッチを操作してもモーターが始動しない	電源プラグがコンセントに接続されていない	プラグをコンセントに接続してください
	オートストップ機能が作動している	洗浄ガンのトリガを引き、始動するか確認してください
	電気が来ていない	電源側のブレーカやヒューズを点検してください
	電源コードが断線している	修理を依頼してください
	本体内で断線している	修理を依頼してください
	マグネットスイッチのサーマルが働いている	電装ボックス内のサーマルのリセットボタンを押してください 繰り返しサーマルが働く場合は、機械の故障の可能性があるので、修理をご用命ください
突然モータが停止する	オートストップ機能が作動している	洗浄ガンのトリガを引き、始動するか確認してください
	ノズルの目詰まり	ノズルの洗浄、または交換してください
	電源プラグの接続不良	プラグをコンセントにしっかりと接続してください
	電源の容量不足	電源の容量を確認してください
	同じ電源で他の機械を使用している	電源の容量を確認してください
	延長コードを使用している	適した延長コードか確認してください
	モータ、または回路の故障	修理を依頼してください
ガン先から水が出ない	水槽に水が入っていない	水槽に清水を入れてください
	吸水フィルタが水中に入っていない	水槽の底まで沈めてください
	吸水ホースが緩んでる	締めなおしてください
	吸水ホースの接続部のパッキンが損傷あるいは紛失している	パッキンを交換してください
	吸水ホース先端の吸水フィルターが目詰り	フィルタを洗浄してください
	吸水ホース、または高圧ホースがが損傷している	交換してください
	ノズルの目詰まり	ノズルの洗浄、または交換してください
	エア抜きを行っていない	エア抜きを行ってください
	ポンプのバルブが固着している	ポンプを回転させた状態で、ポンプの吸水口に水道ホースを押しつけ強制給水させてください
	ポンプのバルブのゴミ詰り	上記の方法で改善されない場合、修理を依頼してください

症状	考えられる原因	その対策
圧力が全く上がらない	ノズルの目詰まり	ノズルの洗浄、または交換してください
	アンローダのゴミ詰り、または故障	修理を依頼してください
	自動エア抜き弁のゴミ詰り、または故障	修理を依頼してください
	ポンプの不良	修理を依頼してください
圧力が規定値まで上がらない	ノズルが低圧モードになっている	高圧モードに切替えてください
	アンローダの圧力調整不良	ノブを回し圧力調整をしてください
	吸水ホースの接続部のパッキンが損傷あるいは紛失している	パッキンを交換してください
	吸水ホース先端の吸水フィルターの目詰り	フィルタを洗浄してください
	エア抜きを行っていない	エア抜きを行ってください
	ノズル口径が大きすぎる	純正ノズルに交換してください
	ノズルが摩耗している	ノズルを交換してください
	ポンプの不良	修理を依頼してください
	アンローダーのゴミ詰り、または故障	修理を依頼してください
	自動エア抜き弁のゴミ詰り、または故障	修理を依頼してください
圧力が不安定	吸水ホースが緩んでいる	締めなおしてください
	吸水ホースの接続部のパッキンが損傷あるいは紛失している	パッキンを交換してください
	吸水ホース先端の吸水フィルタの目詰り	フィルタを洗浄してください
	ノズルの目詰まり	ノズルの洗浄、または交換してください
	ポンプのバルブが固着している	ポンプを回転させた状態で、ポンプの吸水口に水道ホースを押しつけ強制給水させてください
	ポンプのバルブのゴミ詰り	上記の方法で改善されない場合、修理を依頼してください
洗浄ガンのトリガを放しても圧力が下がらない	洗浄ガンから水漏れしている	交換、または修理を依頼してください
	高圧ホース、ホース接続口から水漏れをしている	交換、または修理を依頼してください
	アンローダの故障	修理を依頼してください
オートストップ機能が作動しない	スイッチが手動になっている	スイッチを自動にしてください
	洗浄ガンから水漏れしている	交換、または修理を依頼してください
	高圧ホース、ホース接続口から水漏れをしている	交換、または修理を依頼してください
	アンローダの故障	修理を依頼してください
	電気回路の故障	修理を依頼してください
ポンプからオイルが漏れる	オイル注入量の過多	オイルゲージを確認し、オイル量を調整してください
	ポンプの不良	修理を依頼してください

§ 11 アフターサービスについて

□アフターサービス

使用中に不具合が発見された場合は、§ 10 トラブルシューティングを参照の上、適正な処置を取ってください。不明な場合は最寄の取扱店にご相談ください。

その際、「機種名」「製造番号」「故障内容（なるべく詳しく）」をお伝えください。

□補修部品の供給年限

本製品の補修部品の供給年限は、本製品の製造打ち切り後9年です。但し、供給年限内であっても特殊部品については納期等をご相談させていただく場合があります。また、特殊部品については代替部品（互換品）での対応とさせていただく場合があります。補修部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても供給可能なものもありますのでお問い合わせください。

§ 12 製品の保証期間について

当製品は、弊社の厳しい品質管理のもとに製造し製品検査を行なっております。万一、正常な状態にて使用して故障が発生した場合は、当製品の無償修理をもって保証とさせていただきます。

また、当製品に起因した二次的損失(労賃や慰謝料等)については、保証対象外とさせていただきます。

製品の保証期間は、**ご購入後 1 年間**です。

但し、保証期間内でありましても、下記の場合の故障は、保証対象外となります。

1. 消耗品の磨耗による交換。
 - ポンプ，調圧装置内のバルブ，パッキン類の摩耗。
 - ノズル，高圧ホース，洗浄ガンのバルブの摩耗。
2. 不適正ノズル(標準ノズルより小径のノズル)の使用、アンローダの不適正調整(調圧ノブの締め過ぎ)による故障。
3. ポンプオイルの点検不備(オイル切れ，汚濁等)による故障。
4. 水質不良，凍結，純正以外の部品使用，ポンプの空運転等による故障。
5. 天災・火災・風水害・落雷・その他不可抗力による故障・破損。
6. 「取扱説明書」によらない使用による故障。

品質保証書

保証期間	当品のお買上げ日より 1 年間		
製品名	MKW513MC MKW520MC MKW1010MC MKW1413MC	製造番号	
使用者名 住所 電話			
購入店名 住所 電話			
購入日	年	月	日

万一、正常な使用状態にて故障が発生した場合には、弊社保証規定に基づき無償修理させていただきます。ご面倒でも、販売店又は、弊社サービス店までご連絡をお願いいたします。

製品に関するお問い合わせ等はまず、ご購入の販売店にご相談ください。
または、下記の全国共通の無料電話でもお受けいたします。

丸山サポートセンター

無料通話 0120-898-114

受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

製品についてお問い合わせいただく際は、正確にご対応
させていただくため、あらかじめ下記の事項をご準備く
ださい。

製品型式名・製造番号

ご購入年月日

販売店名

- 製造元 -

マルヤマエクセル株式会社

本社

〒101-0047

東京都千代田区内神田 3-4-15

TEL 03-3252-2283

- 発売元 -

株式会社丸山製作所

本社

〒101-0047

東京都千代田区内神田 3-4-15

TEL 03-3252-2281